

平成23年度 教育行政執行方針



教育行政執行方針を述べる生駒教育長

教育行政の基本姿勢

平成23年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げ、町議会並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

近年、わが国においては、人口減少や少子高齢化が急速に進行する中、経済・雇用をはじめ、暮らしの安全・安心の確保や多様化する環境問題への対応など多くの課題に直面しており、教育においてもこれらを背景に、新しい時代

に対応した改革が急速に進められております。

このような社会改革の流れの中で、将来を担う子ども達に、たくましく生きる力を身に付けさせることが極めて重要であり、さらに町民一人ひとりが心身ともに健康で生きがいのある充実した人生を送るためには、生涯にわたって学び続けて自らを高めることができる環境づくりが求められております。

このため、教育委員会といたしましては、このような教育課題に 대응するため、関係機関や団体などと連携のもとに、地域に根ざした教育行政の推

学校教育

学校教育の推進

はじめに、学校教育についてであります。

学校教育に関しましては、平成23年度からの新たな取り組みとして、小・中・高の学校間が連携・接続した教育活動を進めてまいります。

子ども達の発達段階に応じて、能力・個性等を最大限に伸ばす教育を進めていくためには、小学校間・中学校・高等学校、それぞれが連携を図り教育を進めていくことが大切であると考えております。

各学校との連携強化

取り組みの初年度である本年度については、まず、教職員の授業交流、環境及びスポーツ教育、また、北海道教育大学との連携を進めてまいります。

教職員の授業交流については、新しい学習指導要領の導

進に努めてまいります。

大学との連携

北海道教育大学との連携については、教育大学生の教育実習や、へき地校への体験実習などを受け入れることにより、高校及び小中学校での授業において担当教諭との連携により、相乗効果が期待されるとともに、子ども達の学力意欲向上にも結びつくものと考え推進してまいります。

学力向上

つぎに、学力向上に向けた取り組みについてであります。が、文部科学省により全国学力学習状況調査が行われておりますが、本町の全ての小中学校及び学年が対象とされているものではありませんので、民間の標準学力調査も活用し、その結果から現状を分析し児童生徒個々の傾向をとらえ、対策を講じてまいります。

また、昨年度から導入をしております、巡回指導教員を本年度も幾寅小学校を本務校として配置の要望を行い、各小学校へ出向き複数教員による授業を行うなど、児童に対

してきめ細やかな指導を行ってまいります。

中学校においては、太陽光発電や木質チップを燃料とした暖房設備をそなえたエコスクール校舎に改築し、生徒も明るく暖かい校舎で勉学に励んでいるところであります。

平成24年度から新学習指導要領が本格実施されますが、新たに体育教科で武道が必修化となることから、昨年度より導入しております空手を引き



昨年から中学校へ導入された空手

特別支援教育の推進

特別支援教育についてはありますが、特別支援教育を推進するため設置した南富良野町特別支援教育連絡協議会の充実を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、学校における適切な指導及び必要な支援を行い、各学校や医療・福祉などの関係機関と密接な連携を図り、引き続き特別支援教育の推進に努めてまいります。

小学校のあり方

昨年からの町内小学校5校の「これからの小学校教育の姿」について、保護者や地域の皆様との意見交換や協議を行ってまいりましたが、さらに協議を進め、また議会の皆

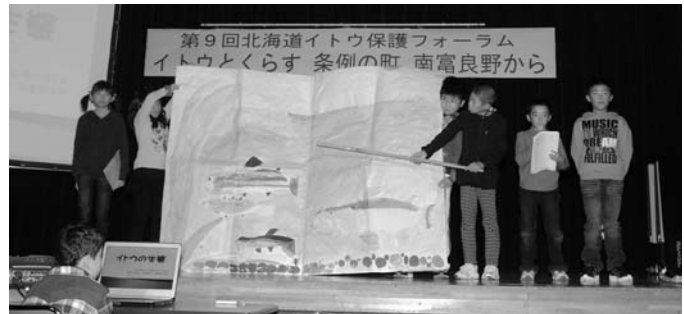
入により平成23年度から小学校5・6年生には、外国語活動が取り入れられることになり、小学校外国語活動推進委員会での意見を基に、外国語指導助手を活用した、聞くこと・話すことを中心にした取り組みを各小学校で行ってまいります。さらに中学校の英語教員を活用した授業の充実や学びへの接続を図ってまいります。また、中学校と高等学校とともに、全ての教科に対する専科教員が配置となっていないことから、相互間の授業交流による連携を進めてまいります。

環境教育

環境教育については、本町は幻の魚といわれる「イトウ」が生息する恵まれた自然環境を有している町であります。子ども達が自分達の生まれ育った地域を知り、理解を深め郷土に対する愛着や誇りを持ち、環境に配慮して主体的に行動する意欲や態度の育成を図るため、小・中・高それぞれが発達段階に応じた教育を実施してまいります。

体力向上と校外施設の活用

スポーツ教育については、本町には、本町の特徴を生かしたスポーツである「カヌー」と「カーリング」があります。これらのスポーツは、他の周辺市町村では経験することのできないものでありますので、小・中・高の授業の中に取り入れ、子ども達に体験させることにより、興味を持っていただき、少年団活動から中学校・高等学校の部活動へ繋がるよう、努めてまいります。



北海道イトウ保護フォーラムで発表する児童

学校給食

南富良野町学校給食センターは、富良野広域連合に移行して3年目となりますが、今後も、学校給食関係者の衛生意識の向上を図るとともに、調理場の衛生管理の徹底を行い、安全で安心な学校給食を提供してまいります。



学校給食の様子（幾寅小学校）

南富良野高校

南富良野高等学校についてはありますが、本校の教育目標達成に向け、生徒一人ひとりの能力・適性及び進路希望に応じた教育活動を実践するとともに、豊かな心の育成を目指して、様々な活動を体験させるなど地域の特色を生かした学校づくりに努めているところであります。

学習活動につきましては、進路希望に応じた類型選択科目を配置するとともに、習熟度別授業、複数教員による授業、コンピュータを活用した



道内唯一の高等学校カヌー部